

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市南アルプス井川オートキャンプ場		
課名	中山間地振興課		
指定管理者名	一般社団法人静岡市井川振興会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和3年6月7日(月)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 気田 敏弘 (中山間地振興担当部長) ②委員 杉本 守 (参与兼農業政策課長) ③ " 寺田 雅俊 (中山間地振興課課長補佐) ④ " 杉山美樹江 (公益財団法人するが観光企画局 地域連携部長) ⑤ " 松下由美子 (静岡県温泉協会書記)		
評価点 (各委員平均点)	77.4点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>利用者ニーズに応じて開業期間を増やしたり、利用者アンケートにて概ね高い評価を得ていることから良好な施設運営がなされていたと考える。</p> <p>令和4年に光回線が整備される予定であることから、現在指定管理者にてホームページの準備をしており、併せて今後各種SNS等を活用した情報発信により誘客が図られることを期待する。</p> <p>また、井川地区の各施設との連携を更に強化し、今後も地域振興の核施設としての取り組みを期待する。</p>		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡県南アルプス井川オートキャンプ場]

課名 [中山間地振興課]

指定管理者名 [一般社団法人静岡県井川振興会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。	16	15	17	15	16	15.8
(イ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。	7	8	8	8	8	7.8
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。	7	8	8	8	9	8.0
(エ) 予算に基づき適正に執行されているか。	7	7	7	8	9	7.6
小 計	37	38	40	39	42	39.2
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。	7	8	8	8	8	7.8
(イ) 経費削減に関する工夫がなされているか。	3	3	4	4	4	3.6
小 計	10	11	12	12	12	11.4
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者アンケートにおいて高い評価を受けた。	7	8	8	8	7	7.6
(イ) 利用者の苦情等に速やかに対応した。	3	3	4	4	4	3.6
小 計	10	11	12	12	11	11.2
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 交流人口の増加を図る工夫がされた。	7	8	8	9	8	8.0
(イ) 地域振興施設としての役割が果たされた。	6	7	7	9	9	7.6
小 計	13	15	15	18	17	15.6
合 計	70	75	79	81	82	77.4

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

営業日を増やして来客数は増えている。
苦情に対し対応はしている。サイトの広さは今後の課題。
来年に向けてホームページを開設する。

【B評価委員】

適正に実施、管理されている。
安定した雇用に努めている。
利用者ニーズの変化への対応が課題。
利用期間の検討やインターネットを使ったPRに期待する。

【C評価委員】

事業計画に従って実施されている。
令和2年度に赤字になっているが、人件費の増大ということで要因がはっきりしており問題ない。
利用者からは、よい評価を受けている。
SNS環境を整えば、広く情報発信ができる。

【D評価委員】

キャンプサイトの広さの苦情についてはできる範囲で対応するが、繁忙期については対応しきれない。予約時に振り分けを検討する。
要望に応じて6月と11月を営業し、好評であった。雇用の拡大にもつながる。
令和4年度から光回線が導入される予定であるため、ホームページを新設し利用者の利便性を高める準備をしている。

【E評価委員】

目立った事故も発生しておらず、良好な管理運営がなされてきたことがうかがえる。
安定した収支を確保するとともに利用者ニーズに合わせた開場対応に工夫が感じられる。
年度毎でアンケート結果にややばらつきが見受けられるが、課題に対して適切な対応をその都度行っていることで概ね良好な結果を導き出している。
情報ツールの活用や一般的なニーズをいち早く取り入れることで地域にとってもプラスの成果が発生している。今後も継続して実施していく体制が必要。
地域振興のための中核的な施設として、運営者は常に課題意識を持って経営していることが感じられる。
施設の立地や性格上、繁忙期と閑散期における集客度合いに差が出ることはやむを得ないが、アフターコロナを見据えた経営の方向性をしっかり定めることで、今後も伸びしろのある経営が望めると考えられるので、デジタルの活用も図りながらより一層の改善と努力を期待する。

評価委員会としての意見

事業計画に従って適正、良好な管理運営がなされてきたことがうかがえる。

利用者からの要望に応じて6月と11月に臨時営業するなど、いち早くニーズを取り入れていることは評価できる。また、雇用の拡大にもつながっている。

令和4年に地域に光回線が導入されるため、ホームページを新設して利用者の利便性向上が図られるよう準備をしている。今後はデジタルの活用を図りながら、より一層の経営努力を期待したい。